

日本航海学会航法システム研究会 50周年記念シンポジウム

「航海計器の歴史と展望」

航法システム研究会は、その前身である航法研究部会から数えて通算50年を迎えました。この節目の年に、航法システムの中核をなす航海計器のこれまでの発展を振り返り、また将来を展望することを目的として記念シンポジウムを開催することとしました。

2000年の SOLAS 改正に伴い、新たな計器が登場し、また従来からの計器も国際ルールにより定義が明確となりました。今後も、ECDIS の搭載義務化など新たな動きが目白押しです。本シンポジウムは、このような動向を踏まえ、「航海計器の歴史と展望」をテーマとしています。

日 時：平成 24 年 7 月 20 日（金） 13:00～17:00

会 場：東京海洋大学越中島キャンパス 越中島会館講堂

参加費：無料（シンポジウム終了後に開催予定の懇親会は有料となります）

※事前申し込みにご協力ください。

主 催：日本航海学会航法システム研究会

お問い合わせ・お申し込み：

<http://navsystem.j-navigation.org/>

